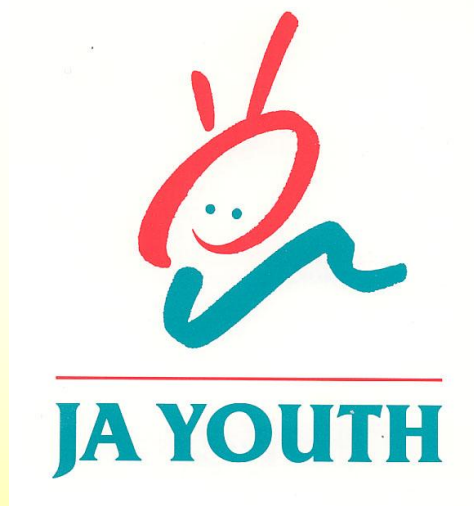


JA茨城県青年連盟

ポリシーブック2011

～若手農業者における政策提言～



茨城県農業協同組合青年連盟

JA茨城県青年連盟 ポリシーブック2011 目 次

1. 今後の日本の農業に対する位置づけ……………1
2. 福島原発事故による放射能汚染について……………2
3. 環太平洋経済連携協定(TPP)について……………3
4. 新規就農者、農業労働者の確保について……………4
5. 食の安心・安全について……………5
6. 肥料、燃料、資材、農産物の価格について……………6
7. 農業経営の安定について……………7
8. 農作業の安全対策について……………8
9. 食農に対する消費者の理解促進について……………9
10. 農業の多面的機能の保全について……………10

今後の日本農業に対する位置づけ

問題点

- 日本では農業の位置づけが弱く感じられる。
- 日本の食料自給率は先進国の中で最低である。

青年連盟として行うこと

- 農業の役割・重要性を国民に強くアピールをする。(農業体験やPR活動)
- 経営規模の拡大を行い、農畜産物の増産に努める。

JAに期待すること

- 国・県の農業予算の拡充を強く要請してほしい
- 学校給食への地場農産物の提供を働きかけてもらいたい。
- 県産農産物の消費拡大を図るため、積極的に食農教育、地産地消運動を展開してもらいたい。

県・国に対し要請すること

- 農業に関する予算の拡充を求める。
- 学校の授業に農業科目をつくってほしい。
- 農業者(特に若手)が気軽に相談できる窓口の開設を求める。
- TPPに参加した場合の、食料自給率向上の政策を具体的に示してもらいたい。

解決策・要請事項

福島原発事故による放射能汚染問題について

問題点

- 放射能汚染による風評被害が甚大である。
- 多くの外国人労働者が帰国したことで労働力不足が露呈した。

青年連盟として行うこと

- 茨城農産物の安全性を消費者に訴えていく。
- 放射能についての正しい知識を身につけるため勉強会を行う。

JAに期待すること

- 被害額を取りまとめ、早急に損害賠償の請求をしてほしい。
- 放射能に関する勉強会を関係者だけでなく消費者を巻き込んで実施してほしい。

県・国に対し要請すること

- 価格が下落した損害に対して、早急な支払いを実施してほしい。
- 今後、放射能が検出された場合の対応をすばやく、明確に知らせしてほしい。
- 放射能に関する勉強会を、各自治体等狭い地域ごとに、地域住民を対象に行ってほしい。
- 外国人労働者に頼るだけでなく、日本人労働者が農業で働きたいと思わせるような魅力ある政策を立案し、実行してもらいたい。

解決策・要請事項

環太平洋経済連携協定(TPP)について

問題点

- TPPの参加は日本の農業の急速な衰退を招く恐れがある！
- 国民への十分な説明が全くない！

青年連盟として行うこと

- TPPのメリットやデメリットについて勉強し、正しく理解をする。
- 断固反対をかかげ、積極的に反対運動を行っていく。

JAに期待すること

- 引き続き行政に対し強く反対してもらいたい。
- TPPに関する反対運動を大々的にやってもらい、消費者に対しても反対の意思をもってもらえるよう、活動してほしい。

県・国に対し要請すること

- TPP反対を茨城県の方針として、国に対し強く訴えてほしい！
- TPPに参加した場合の、政策として掲げている食料自給率50%達成への具体的な取組みを明確に示してほしい。
- TPPに参加した場合の各業界の試算や国民の意識調査などを積極的に公表してほしい。

解決策・要請事項

新規就農者、農業労働者の確保について

問題点

- 新規就農者の確保がそれほど進んでいない。
- 農業従事者は年々減少しており、労働力不足と感ぜられる。

青年連盟として行うこと

- 新規就農者に対し、技術指導や地域生活の手助け等を行う。
- 農業従事者(被雇用者)に明確な労働条件を示す。

JAに期待すること

- 新規就農者の営農・生活をバックアップする体制を整えてほしい。
- 農業に関する労働力を確保するため、JAが総合的な相談・管理の窓口となつてほしい。
- 婚活イベントを定期的に開催してほしい。

県・国に対し要請すること

- 農家が雇用を促進させる支援策の構築。(特に日本人の雇用を促進させる支援策)
- 若い人を惹きつけるような支援策の構築。
- JAが主催する婚活イベントなどのバックアップを行つてほしい。(結婚支援事業の開設)
- 労働対価が補償されるような助成金制度を設けてほしい。

解決策・要請事項

食の安心・安全について

問題点

- 食品偽装問題、残留農薬問題などにより、消費者の食に対する不信感が強い。
- 多くの消費者は、輸入農産物のずさんな管理の実態を把握していない。

青年連盟として行うこと

- 農薬の適正使用に努める。
- 生産履歴記帳の徹底に努めるとともに記帳を開示していく。
- 輸入農産物のずさんな管理の実態を見学し、周りの人に伝えていく。

JAに期待すること

- 農薬の適正使用の講習会を引き続き、定期的で開催してほしい。
- GAPの普及に努めるとともに、GAPを取り組んだ結果を価格に反映してほしい。
- 輸入農産物のずさんな管理を訴え、国産農畜産物の安全性をPRしてもらいたい。

県・国に対し要請すること

- 登録農薬の適正使用の指導の徹底。
- 無登録農薬の販売に対する取組みの強化。
- 輸入農畜産物の管理について基準や規則を強化してほしい。

解決策・要請事項

肥料, 燃料, 資材, 農産物の価格について

問題点

- 生産資材の価格が高騰している。
- 輸入資材は国際情勢によって価格変動が大きい。
- 農畜産物の価格が低迷している。

青年連盟として行うこと

- 肥料・燃料・資材を計画的に使用する。
- 農畜産物の価格が上がるためにも高品質な農畜産物の生産に取り組む。

JAに期待すること

- 生産資材価格の安定化を図ってほしい。
- 価格を抑えた新しい生産資材の開発。
- 農家経営の安定に保つため、国際情勢を受けにくい国産メーカーの資材開発に力をいれてほしい。

県・国に対し要請すること

- 農畜産物の販売と生産資材の価格のバランスを保つ政策を立案し、実行してほしい。
- 該当する補助金制度について、国や県から補助金制度の連絡をしてほしい。

解決策・要請事項

農業経営の安定について

問題点

- 農業経営が安定しない。
- 労働対価が合わない。
- 政策や補助金制度がコロコロ変わりすぎる。また、政策が変わるたびに申請にかかる手順が複雑化して事務作業が分かりにくい。

青年連盟として行うこと

- 多くの補助金制度があるため、該当する補助金制度に関して情報を入手し、活用する。

JAに期待すること

- 随時、農家経営の相談に応じてもらいたい。
- 補助金制度に関して、研修会を行ってほしい。
(申請の手順や、必要事項について)

県・国に対し要請すること

- 農業の重要性を再認識し、農業経営が安定できる制度を構築してほしい。
- 中長期的な視点に立ち、農業経営が安定できる政策の実現を求める。
- 補助金申請に関する手続きをもっと簡略化してほしい。
- 補助金申請に関する説明会を定期的を開催してほしい。

解決策・要請事項

農作業の安全対策について

問題点

- 毎年、農作業事故による死亡者が多い。
- 農機具の扱う際、「自分は事故を起こさない」と過信してしまうところがある。

青年連盟として行うこと

- 実体験をもとにした事故やヒヤリとした事例集を作成し、危機意識を共有する。

JAに期待すること

- 農作業事故が撲滅するよう農家に働きかけてほしい。
- 農作業事故撲滅に向けて体験研修会を行ってほしい。

県・国に対し要請すること

- 農作業事故撲滅に向け農家に働きかけてほしい。
- 農作業事故撲滅に向けて体験研修会を行ってほしい。

解決策・要請事項

食農に対する消費者の理解促進について

問題点

- 食べ物のありがたみが薄れている。
- 農業の重要性に関する消費者の認識が薄い。
- 本県農畜産物に対するイメージアップが必要。

青年連盟として行うこと

- 学校などで食農教育を実施し、食べ物のありがたみを訴えていく。
- 青年の主張、活動実績発表などを消費者にも訴えていく。
- 消費者団体と交流し、食農教育を浸透させていく。

JAに期待すること

- 学校などで食農教育を実施し、食べ物のありがたみを訴えてほしい。
- 消費者に農業の重要性を訴えてほしい。
- クラブチームや著名人などを活用しながら農業のPR活動を行ってほしい。

県・国に対し要請すること

- 県民へ食農活動を展開してほしい。
- 農業に関するカリキュラムを学校教育に盛りこんでほしい。
- 本県農畜産物のイメージアップ、ブランド化の取組みにさらに力を入れてほしい。

解決策・要請事項

農業の多面的機能の保全について

問題点

- 農業を営むことが、環境保全に結びついている。
- 農業の多面的機能について国民の理解が足りない。

青年連盟として行うこと

- 環境保全対策として景観作物の栽培に取り組む。
- 農業の多面的機能について多くの国民に理解してもらうようPRしていく。

JAに期待すること

- 平成24年度環境保全型農業直接支援対策の更なる予算拡充を働きかけてほしい。
- 農業の多面的機能の消費者理解を得るための普及活動を実施してほしい。
- 減成分肥料を開発してほしい。
- 景観作物普及のコーディネーターとして中心的役割を担ってほしい。

県・国に対し要請すること

- 「環境保全補助金」制度を導入してほしい。
- 農業の多面的機能を国民に対して広く伝えてほしい。
- 学校の中で農業が担う環境保全についてしっかりと子供たちに教育してほしい。

解決策・要請事項

